

Closets Plus

Installation Instructions



Your Style With Our Solutions Creates Home

CANYON CREEK
Cabinet Company
CLOSETS PLUS

取付説明書

序章

新規のクローゼットシステムの取付方法を説明します。

クローゼットシステムの設置後すぐに使用できるように、慎重に計画を立てて設置する日の準備をしてください。（計画について質問があればお問い合わせください。）

クローゼットを設置する場所に、既存の設備や家具がある場合は撤去し、設置作業をするためのスペースを確保してください。



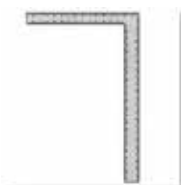
電動ドリル
5mm ドリルビット
(ドアの取付用→ステップ17)



水平器



メジャー



直角定規



ゴムハンマー



脚立



ドライバー

目次

STEP#	説明	ページ
STEP 1	製品のチェック	3-4
STEP 2	設置場所の準備	4
STEP 3	床の最も高い場所を見つける	5
STEP 4	背板(オプション)	5-6
STEP 5	サスペンションレール	6-7
STEP 6	サスペンションレールカバー	7-8
STEP 7	バーティカルパネル	8
STEP 8	カーブドハッチ	9
STEP 9	コーナーシェルフ	9
STEP 10	固定シェルフ	9-10
STEP 11	ブリッジブラケット	10
STEP 12	トウキック(蹴込み)	11
STEP 13	クローゼットポール	11
STEP 14	可動シェルフ	12
STEP 15	引き出し	12
STEP 16	引き出しのオプション	12
STEP 17	ドアの取り付け	13
STEP 18	ワイヤーバスケット	13
STEP 19	ティルトアウトハンパー	14
STEP 20	シューシェルフ	15
STEP 21	アクセサリ	15-17
STEP 22	モールディングとトリム	18
STEP 23	デコレイティブハードウェア	18

取付説明の途中の資料もお読みください：

背板(6mm)の取り付け	19
ドア取付用穴あけテンプレート	21
ハードウェアレイアウト	23
注意と施工の準備	25



取付説明書

Step 1: 製品のチェック

下記は、Clocets Plus のパッキングリストの例です。アイテムリストに従って製品を整理してください。

CANYON CREEK Cabinet Company			Delivery List File Copy			888826-00		
15728 Tye St SE Monroe WA, 98272 (800)228-1930			Order Date: 3/24/2014 Delivery Date: 0421014 P.O.# / S.M.: CONTRACT# C0000					
Ship To: JD ROBERTS HOMES INC			Sold To: JD ROBERTS HOMES INC PO BOX 000					
WOODINVILLE WA 98072 US			BELLEVUE WA 98005 US			Packages: 53 Cabs: 17		
Item	Ordered	Shipped	Back Ordered	Item	Ordered	Shipped	Back Ordered	
WBC	1	1		MDH364814X	1	1		
CP	1	1		VP1448	1	1		
B4D	1	1		MLH184814	1	1		
FE12B	2	2		VP1448	1	1		
MS96	2	2		MDHX	1	1		
SE96H	1	1		VP1448	1	1		
SF342	1	1		MLH244814X	1	1		
WTFLR	1	1		VP1448	1	1		
M4DA188714	1	1		MDH364814X	1	1		
VP1487	1	1		VP1448	1	1		
M4DA248714	1	1		SRCP-WHT	3	3		
VP1487	1	1		TF24-2	2	2		
M4DA248714	1	1		TF18-2	1	1		
VP1487	1	1		DH811-128SN	12	12		
VP1487	3	3		SR98	3	3		
MLH184814	1	1		VTB-WHT	1	1		
VP1448	1	1						

アイテムはPART LISTやカタログでコード化されています。以下は、一般的にパッキングリストで使われている頭字語の用語集です。「モジュール」の場合は「M」で始まります。(M5BA、MH6Dなど)

イニシャル用語集

CPD	クローゼットポールデラックス	SA	シェルフアジャスタブル	SF	シェルフフィックス
CPS	クローゼットポールスタンダード	SAC	シェルフアジャスタブルコーナー	SS	シューシェルフ
CLCP	クローゼットカスタムパネル	SB	シェルフボトム	TF	トウフロント
DH	デコレイティブハードウェア	SB-L/R	サスペンションブラケット	VP	パーティカルパネル
DR	ドア	SBC	サスペンションブラケットカバー	VPCH	パーティカルパネルカーブドハッチ
DWR	ドロワーボックスアッセンブリー	SFC	シェルフフィックスコーナー	WB	ワイヤーバスケット

組立パーツ

クローゼットシステムではいくつかの異なるコネクタを使います。下の画像は、実際のサイズではありません。



拡張カムスクリュー (DQES5x12) :
棚板を取り付けるためにバーティカル
パネルのシステムホールに挿します。



くさびカムハウジング
(CAMDW-カラーホワイト) :
ボトムシェルフに利用します。
バーティカルパネル上に挿したカムスク
リューにかぶせ、押し下げてロックします。



ダブルエンドカムスクリュー (DDE19) :
バーティカルパネルを挟んで両側に棚板を
設置する時、システムホールを貫通させ
挿入し棚板を設置します。



コネクタスクリュー (SCREW-C) :
並んでいる2枚のバーティカルパネル
をつなぎます。



カムハウジング
(CAMDN-カラーオプション) :
天板とフィックスシェルフに利用します。
バーティカルパネル上に挿したカムスク
リューにかぶせ、プラスドライバーで
ロックします。



ユーロスクリュー13mm (ES5x13) :
サスペンションレールブラケットや引き
出し、アクセサリーをバーティカルパネル
に取り付ける時に使用します。

ユーロスクリュー10mm (ES5x10) :
バーティカルパネルの同じシステムホール
を両側から使用する場合、引き出しガイド
やシェルフ、アクセサリーなどを垂直パネル
に取り付ける時に使用します。

Step 2: 設置場所の準備

クローゼットを設置する場所に、障害がないことを確認してください。
これは、装飾、巾木、カーペットタック、棚、衣類や古いクローゼットを含みます。

- バーティカルパネルが、オプションのベースボードノッチ (巾木用欠き込み) 付ではない場合は、バーティカルパネルと干渉する巾木は取り除いてください。
- 床がカーペット仕上げの場合は、カーペット下地の不陸を調べてください。バーティカルパネルやトウフロントと干渉する場合は、カーペットを加工する必要があるかもしれません。
- 新しいクローゼットの位置と、コンセント、シーリングライトのスイッチの位置が干渉しないか確認してください。干渉する場合はコンセント、またはスイッチを移動する必要があります。

取付説明書

Step 3: 床の最も高い場所を見つける

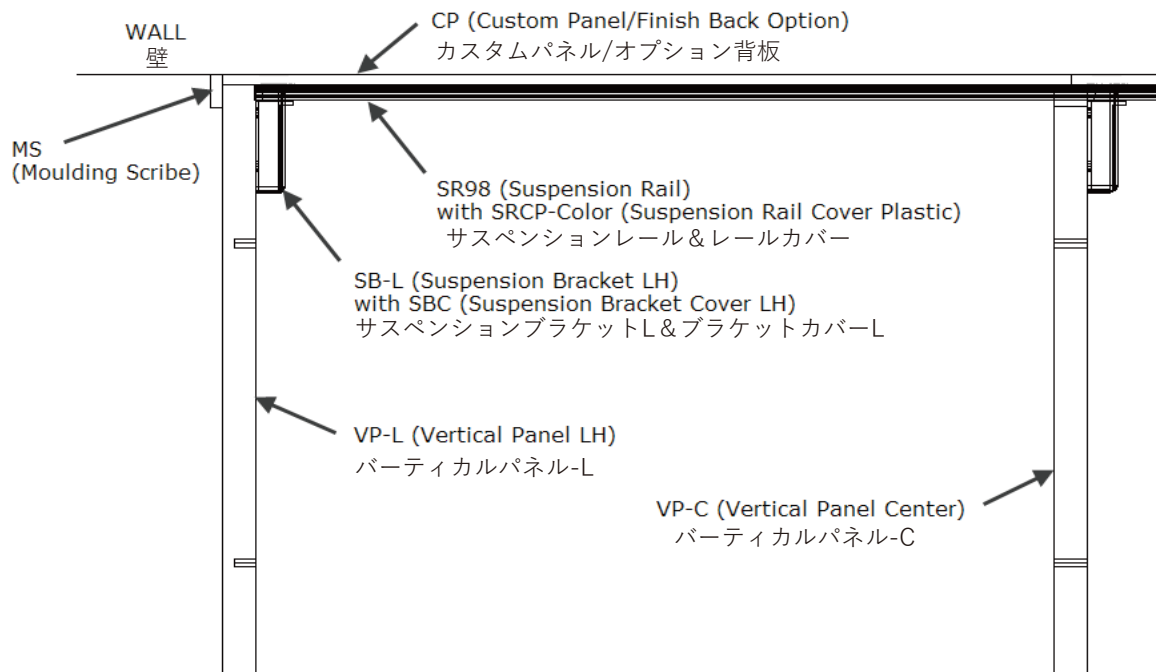
床に着くバーティカルパネル全部の上端部を水平にする必要があるため、床の最も高い場所を見つけます。

- 長い水平器を床に置くなどして測ります。
- 見つかった最も高い位置に印をつけます。サスペンションレールを設置する (Step 5) 時に、この印を使います。

Step 4: 背板 (オプション)

オプションの背板 (CLCP) をバーティカルパネルの後ろに設置する場合は、サスペンションレールを設置する前に背板を取り付けます。

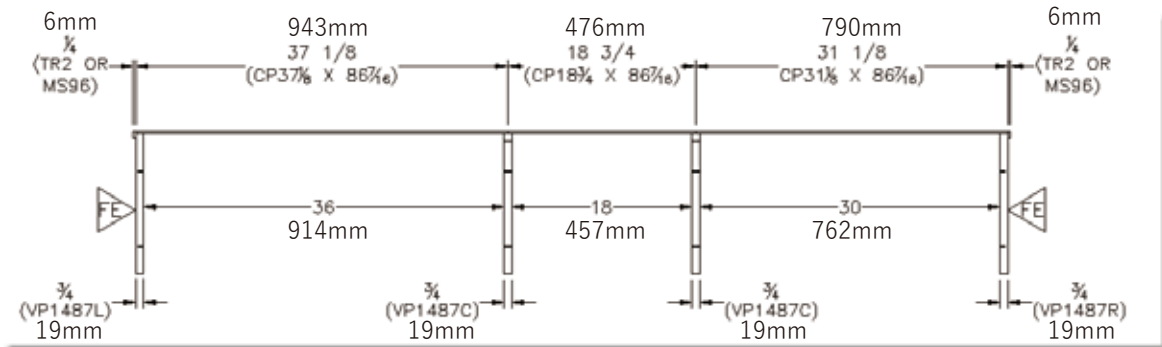
- 背板のつなぎ目がバーティカルパネルの後ろに隠れるように配置してください。
- 背板のつなぎ目部分は上部を皿ビスで止め付け、バーティカルパネルの上端部と合わせて設置します。
- 背板の小口とバーティカルパネルの継ぎ目部分を隠すには、MS96 (Moulding Scribe) を使用します。



取付説明書

Step 4: 背板 (オプション) のつづき

図は、両サイドオープンで背板にカスタムパネル (CLCP) を連結して使用している3連モジュール・レイアウトのサイズと空間を表しています。



Step 5: サスペンションレール

キャニオンクリーククローゼットプラスは、すべてサスペンションレール (SR98) を使用し、バーティカルパネルに調節可能なブラケットを付けて設置します。

- 床の最も高い場所から始めます (ステップ3参照)。
床から測って、サスペンションレールの指定高さで壁をマークしてください。
- サスペンションレールのセンターラインは、クローゼットの仕上がり高さ (バーティカルパネルの高さ) から**56mm**下の位置です。

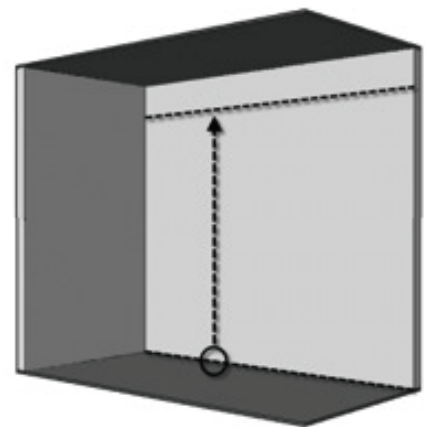
例A) 標準的な2,400mmの天井で、床付けでVP87 (高さ2,196mm) を用いる場合、サスペンションレールのセンターラインは、2,140mmになります (センターライン=ビスの芯)。

例B) 標準的な2,700mmの天井で、床付けでVP96 (高さ2,419mm) を用いる場合、サスペンションレールのセンターラインは、2,363mmになります (センターライン=ビスの芯)。

注意：

天井に段差がある場合や機器が取り付けられている場合は、それに応じてデザイン計画を調整してください。水平器やチョークラインで壁に等高線を引いてください。

ダブルハング (二段ハンガー収納) の適切な高さを確保する為に、この測定値は非常に重要です。(ハンガー一段毎1,016mm程度)

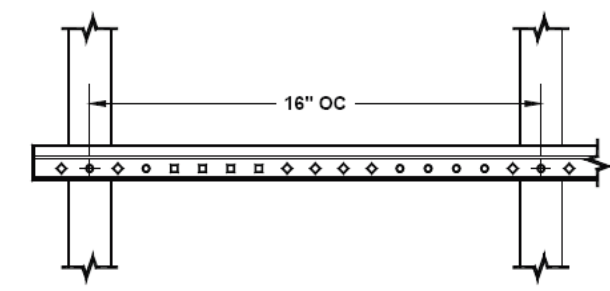


床のもっとも高い場所から上へ測る

取付説明書

Step 5: サスペンションレールのつづき

サスペンションレールのセンターラインが引いたら、下地センサーなどで下地位置にマークをつけます。クローゼットシステムを十分に支え保持する為に、サスペンションレールしっかりとビス留めしてください。



金属のこぎりを用いて必要な長さにサスペンションレールを切ってください。（半分程度溝が入れば、レールは折れます。）

そして、サスペンションレールのビス穴と下地位置を揃えてください。



サスペンションレールを壁にしっかり固定する為に推薦された#8 X 51mmビスで、全ての間柱に確実に打ち込んでください。
もし下地がなければ、左の石壁アンカーでサスペンションレールを壁に確実に固定してください。

注意：釘は使わないでください。

壁面が平らでないならば、レールをまっすぐしておくために、サスペンションレールのビスの後ろにシムを挿入してください。

注意—サスペンションレールは両端のバーティカルパネル分短く切ります。
ですが、両側のバーティカルパネルのブラケットは必ず取り付けられる長さにしてください。

Step 6: サスペンションレールカバー

キャニオンクリークが提供するサスペンションレールカバーのタイプは2つです。

ベーシックサスペンションレールカバーの場合、ステップ5が完了されたあとに設置します。

このタイプの場合、カバーの上からバーティカルパネルを引っ掛けます。レールカバーの上部をサスペンションレールに引っ掛け下にパチンとはめ込んでください。

サスペンションレール全体を隠す長さにカットしてください。

サスペンションレールカバーを設置したら、バーティカルパネルを設置することができます。



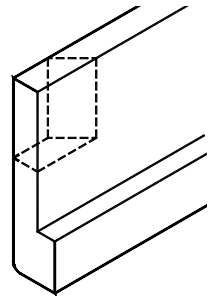
ベーシックサスペンションレールカバー (SRCP)
(右の一部のみカバー)

取付説明書

Step 6: サスペンションレールカバーのつづき

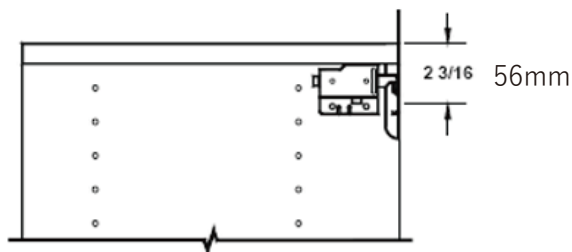
オプションのデラックスサスペンションレールカバーの場合、すべてのステップが完了したあと、バーティカルパネルの位置が確定したあとに、設置されます。

カバーは図のように各先端でカットしなければなりません：
45°斜角 巾16mmx高さ32mm



Step 7: バーティカルパネル

サスペンションレールノッチの近くの2つの穴に、付属の13mmビス2本を使用して、サスペンションレールブラケットを付けてください。



バーティカルパネルの
サスペンションレールブラケットの位置



サスペンションレールブラケット (SBL)

床に着かないバーティカルパネルには、パネルの下端部と壁を三角ブラケットで固定します。

全てのバーティカルパネルをサスペンションレールの上に置いてみます。
それから、クローゼットデザインに合わせてサスペンションレール上で
バーティカルパネルを動かして調節してください。



バーティカル三角ブラケット (VTB)

注意：

もし床が水平ではなく、バーティカルパネルが床に届くデザインなら、
隙間は見える場合があります。
これらの隙間は、オプションのモールディングで隠すことができます。
(スペックブックP15~17をご覧ください)

取付説明書

Step 8: カーブドハッチ (デザインで必要なら)

カーブドハッチパネルは、床支持を必要とします。まず、奥行き356mmのトップ固定棚を設置します。それから、引き出しの上下の奥行き559mmトップ固定棚を設置してください。

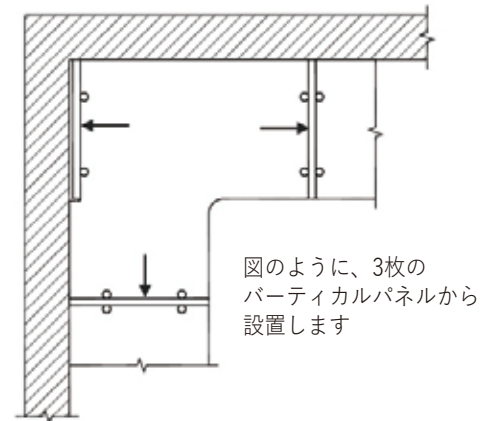
注意:

ハッチパネルは床の支えが必要ですが、サスペンションレールで壁にも固定されなければなりません。

Step 9: コーナーシェルフ (デザインで必要なら)

コーナーシェルフを設置する際、最初に角を、それから隣に順番に設置すると、より簡単です。

コーナーのサスペンションレールは、互いにぶつかります。コーナーシェルフは、パーティカルパネルと後ろのサスペンションレールの厚み分欠きこみされています。最初に一番上の固定シェルフを取り付け、次にボトムシェルフと固定シェルフを取り付けてください。可動シェルフは最後に取り付けます。



Step 10: 固定シェルフ

パーティカルパネルにカムスクリューを挿入し固定シェルフを乗せて、カムハウジングをドライバーで回して締付けます。

注意: 最初にすべてのパーティカルパネルとトップシェルフ設置して安定させてから可動シェルフを取り付けてください。

カムスクリューには下記の2つのタイプがあります



拡張カムスクリュー (DQES5x12)
棚板を取り付けるためにパーティカル
パネルのシステムホールに挿します



ダブルエンドカムスクリュー (DDE19)
パーティカルパネルを挟んで両側に棚板を
設置する時、システムホールを貫通させ
挿入し棚板を設置します

取付説明書

Step 10: 固定シェルフのつづき

- トップシェルフは必ず固定シェルフを使用し、全てのカムを確実に締めてください。
- 角から順番にバーティカルパネルとトップシェルフを締め付け、正しい位置にずらしながら調整してください。
- すべての固定シェルフでこのプロセスを繰り返してください。



ヒント –カムロックを締める前に、固定シェルフとバーティカルパネルがぴったり合っている必要があります。カムロックはプラスドライバーで、時計回りに180° 転回してください。

ロックされた位置で止まります。

注意 –カムロックは回しすぎないでください。

電動ドリルは使わないでください。

バーティカルパネルとトップシェルフが正しい位置に設置されたあと、サスペンションブラケットにカバーを取り付けます。



Step 11: ブリッジブラケット (デザインで必要なら)

ブリッジコーナーブラケット (BCB) は、コーナーシェルフを使わずにL型に配置する時、固定シェルフと一緒に使用します。すべての固定シェルフの取り付けが終わってから設置してください。

- ブリッジ・サポートの厚さを考慮したうえで、バーティカルパネルとブリッジブラケットがぴったり合うように、シェルフをカットください。
- 隣接したクローゼットシステムの上にブリッジブラケットを置いて、固定シェルフのカット面をすべり込ませてください。
- 固定シェルフのカットされていない面は、バーティカルパネルにカムスクリューとカムハウジングでロックしておかなければなりません。

注意：プラスチックブリッジブラケットは、モールディングを取り付けるために、加工が必要な場合があります。



取付説明書

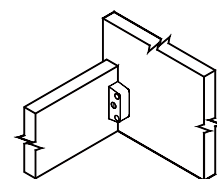
Step 12: トウキック (蹴込み) (デザインで必要なら)

ボトムシェルフが設置される前に、トウキックを取り付けなければなりません。

バーティカルパネルをまっすぐに立てて、その間にトウキックを置きます。隙間が生じないように、必ずバーティカルパネルの間の同じ高さにトウキックを付けるようにしてください。

トウキックは、バーティカルパネルの小口と前面を合わせてフラットにするか、セットバックして取り付けできます。

付属のクリップ (SMRTA) 2個をバーティカルパネルとトウキックにビスで取り付けてください。



付属クリップ (SMRTA)
(図はトウキックの裏側)

トウキックのすぐ上のシステムホールにカムスクリューを挿入してください。

くさびカムハウジング (CAMDW-カラーホワイト) は、ボトムシェルフにすでに装着されてます。

カムスクリューとカムハウジングがぴったりかみ合うように上から押します。

トウキックとボトムシェルフの隙間が出ないように注意してください。

Step 13: クローゼットポール

クローゼットポールキャップをバーティカルパネルのシステムホールに設置します。

高さは下の表を参考にしてください。

寸法指定したクローゼットポールもありますが、現場で自由にカットできる96"のクローゼットポールもあります。(ポールをカットする際は、内法寸法から6mm引いたサイズにカットしてください。)

固定シェルフの下にポールを設置する場合、1つの穴をスキップしてください。

これは、ハンガーをかけるためのクリアランスです。

注意： 図面に示されている場所にクローゼットポールを取り付けます。

床からポール上部の推奨寸法：

床からポール上部の推奨寸法
ロングハング(LH) - 1676mm
ミッドハング(MH) - 1372mm
ダブルハング(DH) - 1029と2083mm

取付説明書

Step 14: 可動シェルフ

まず、システムホールに4本のピン (SSPM) 入れて、ピンの上に棚を置いてください。

注意： パーティカルパネルを挟んで反対側に固定シェルフを設置した場合、可動シェルフを設置できません。
可動シェルフはピンの上に置きますが、固定シェルフはカムでロックします。

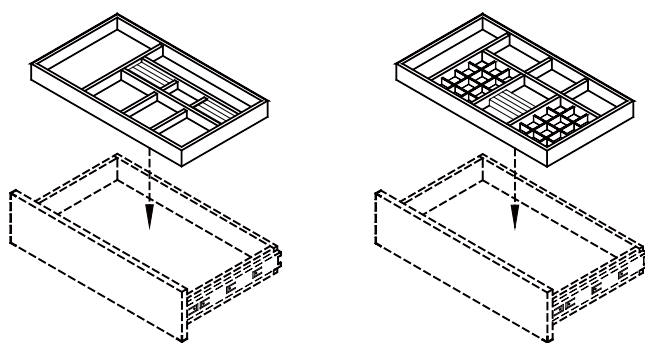


Step 15: 引き出し

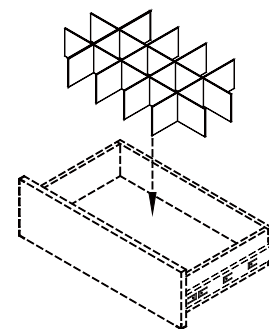
- 各サイズの引き出しの個数を決定します。
- 引き出しには、正面パネルと引き出しレール、取り付けハードウェアが付いています。
- 一番下の引き出しから始めます。10mmのユーロ・ネジ (ES5X10) で、パーティカルパネルの固定シェルフより2つ上のシステムホールに引き出しスライドレールを取り付けてください。
- 右のチャートを使って、引き出しの高さを測定して、次のスライドレールの設置位置を見つけるために、穴の数を数えてください。
- 正しいシステム穴を見つけるために、引き出しが水平になるように一段ずつ設置してください。そして、上の段に進んでください。
- 一番上の引き出しを取り付けたら、チャートのスペーシングから「1」引いたところに、固定シェルフを設置してください。

引き出しスペースの標準高さ		
距離	スペーシング	引き出し高さ
110mm	4 ホール	6" H
192mm	5 ホール	7" H
287mm	8 ホール	11" H

Step 16: 引き出しのオプション



宝石トレイは、ハードウッド引き出しの内側に適合する大きさになっています



引き出し仕切り板は、ばらばらで納品されますので、組み立てて、はめ込みんでください。

取付説明書

Step 17: ドアの取り付け

ドアは、ヒンジを取り付ける為にあらかじめ穴加工がされています。

注：奥行き14"のバーティカルパネルには、出荷の前にヒンジプレート用の穴をあけられません。

ヒンジプレートのための5mmの穴は、現場であけてください。

- ヒンジをドアの加工されている穴に入れます
- 木槌でヒンジとプラグでたたいてください。
- スナッピングプレートを使ってヒンジプレートをブラケットに取り付けます。
- ヒンジプレートを取り付けるために、バーティカルパネルに5mmの穴をあけます。

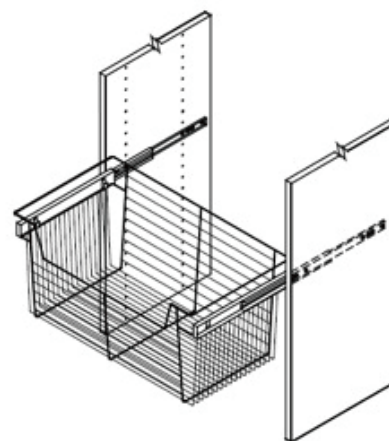
- 20ページのテンプレートを使用してドアヒンジ用のドリル穴をマークします。
- バーティカルパネルにドア（ヒンジとプレートを取り付けた）を設置します。
- **バーティカルパネルあけておいた穴にヒンジが合うようにドアを持ち上げて取り付けます。**
- 付属のビスを使って取付プレートを設置してください。
- 一番上のヒンジから始めて、次に一番下のヒンジへ移ってください。



Step 18: ワイヤーバスケット

注 - すべてのアクセサリ、バスケットとバスケットプルアウト/ティルトアウトは、メーカーの画像入り組立説明書（英語版）付で出荷されます。

- レールを完全に引き出し、黒いリリース・タブを押すと外れます。外すために、両側の先端を引いてください。
- バーティカルパネルに小さい方のレールを取り付けてください。（レールの端を壁側に合わせます。）
黒いリリース・タブは、レールの正面の方へあります。
セットされた22mmのレールは、バーティカルパネルの前面より奥に入ります。
- バーティカルパネルに大きい方のレールを設置されたレールに取り付けます。
- ボールベアリングをはめ込むために、しっかりとレールを押してください。一旦完全にはめ込んだら、最後まで引出してスムーズに動くことを確認してください。
- レールのフックにバスケットを取り付けます。
キャンバスライナー
- ワイヤーバスケットの内側に広げて取り付け、フラップでバスケットの縁に固定します。



取付説明書

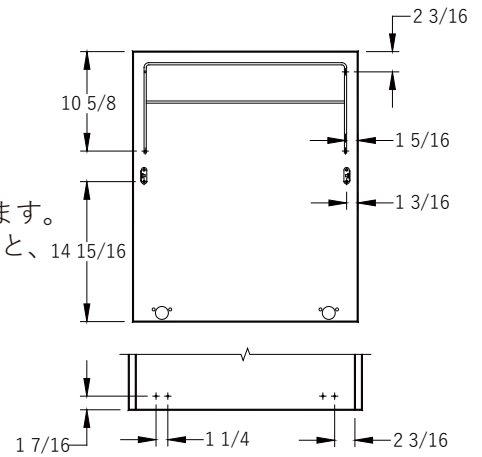
Step 19: ティルトアウトハンパー

注 - すべてのアクセサリ、バスケットとバスケットプルアウト/ティルトアウトは、メーカーの画像入り組立説明書（英語版）付で出荷されます。

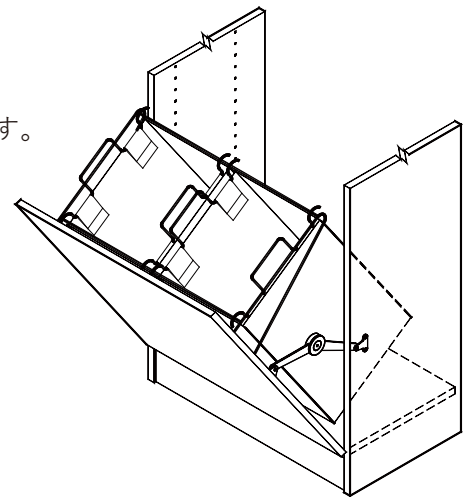
ティルトアウトハンパーには、ドアと2つヒンジとステーが付いています。ティルトアウトドアの裏に取りつける黒のエポキシ被覆したフレームと、14 15/16 ハンドルが付いた黒いナイロン・バッグが付いています。

- ドアに付属の2本のネジで、ハンドルを付けてください。
- あらかじめあいている穴に、付属の2本のなべネジでバスケットブラケットを取り付けます。
- ハンパードアに皿ビスでステーを取り付けます。
- ボトムシェルフの上面にヒンジプレートを設置しドアの裏面に、カップ部を取り付けます。
- バーティカルパネルのボトムシェルフから10穴上に、付属の13mmのユーロ・ネジで、ステーを取り付けます。

注 - プルアウトハンパーを設置する時の高さの最小値は、629mmです。



バスケット・ブラケットと
ステーとヒンジの取付位置参照



ステーはバーティカルパネルに取り付けられます

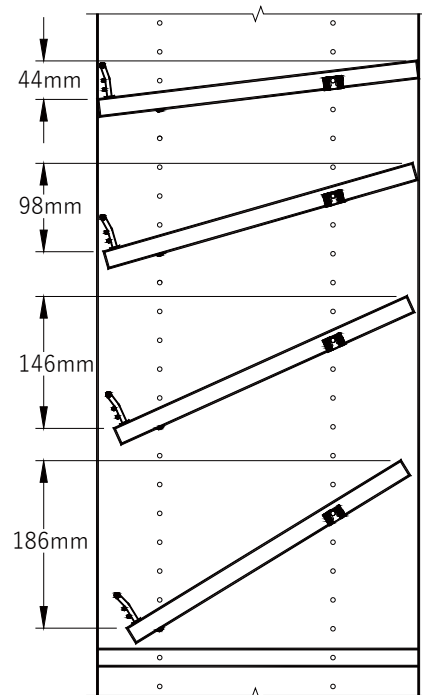
取付説明書

Step 20: シューシェルフ

ボトムシェルフからトップシェルフまでの高さを測ります。シェルフのひとつ上のシステムホールにアジャスタブルシェルフピンを差します。好きな角度に応じて、後ろのシステムホールの場所を選んでください。



注-すべてのシューシェルフは、滑り止めのワイヤーレールが付いています。シューシェルフの奥側はカムハウジングになっていて、サイドのパーティカルパネルの奥側のカムスクリューと結合させます。



図は、シューシェルフの角度によって必要なスペースです。棚の段数の計画の参考にしてください。

Step 21: アクセサリー

注-すべてのアクセサリーは、メーカーの画像入り組立説明書（英語版）付で出荷されます。寸法は、各アクセサリーの下端からの空間高さです。

タイ・ラック



パーティカルパネルの内、または外側で、1段の場合は1,829mm(72")以上、2段の場合は1,981mm(78")と1,016mm(40")以上の高さに設置します。

スカーフ・ラック



パーティカルパネルの内、または外側で、1,270mm(50")（またはスカーフの長さ）+ 51mm(2")以上の高さに設置します。

ベルト・ラック



パーティカルパネルの内、または外側で、子供用の場合は1,067mm(42")、その他の場合は1,270mm(50")、または（ベルトの長さ）+ 51mm(2")以上の高さに設置します。

ヴァレットポール



高さ：特に指定がない場合は、子供のためのクローゼットで床から1,524mm(60")、その他の場合は1,778(70")以上の高さに設置します。

取付説明書

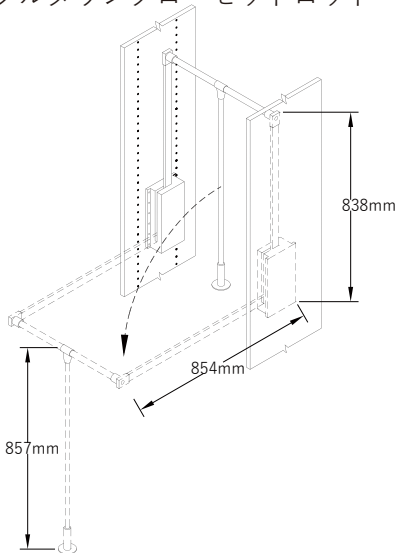
Step 21: アクセサリーの続き

プルアウトパンツラック



- 上の棚からシステムホールを1つスキップして設置します。
- 本体からレールを引き抜いてください。
- バーティカルパネルに、10mmの2本のユーロ・ネジで、レールを設置してください。
- レールと本体をはめ込み戻します。

プルダウンクローゼットロッド



スムーズに上げ下げする為に、左右にある取り付けボックスは水平に取り付けてください。

ハンギングポールは長さ調整可能です。左右対称になるように適切な長さに調整して、ポールを回して固定してください。

注 — リフトを開閉するとき、シャツの裾が下の棚板にあたらないように、914mm(36")以上の高さが必要です。

付属のバンパーは取り外さないでご使用ください。

リフトを3-5回上下させて、正しく動作するかどうか確認してください。

ハンドルは、ハンギングポールの中央に設置して、角度をつけずまっすぐ引いてください。予め設置されているOリングで、T-ブラケットがずれないように固定してください。

ハンギングポールを下ろす時は、ハンドルを持ってバンパーまで下ろしてください。左右のリフト棒を持って下ろすと故障や破損の原因となる場合があります。また、掛けるものが重すぎたり、多すぎると破損する場合があります。左右の重さが均一になるように掛けてください。

取付説明書

Step 21: アクセサリーの続き

プルアウトクローゼットミラー



設置場所の最小スペースは、幅76mm、奥行き356mmです。
フルエクステンション、ソフトクローズ、90度回転機能付。
実寸法は幅343mm、高さ1,219mm、厚さ19mmです。



推奨取り付け高さは、ブラケットの上のビスの位置
が床から1,422mmです。

プルアウトアイロンボード



広げた時の床からアイロン台の天板までの高さは
914mmです。収納位置の最小寸法は、幅140mm、
高さは1,448mmです。

推奨取り付け高さは、ブラケットの上のビスの位置
が床から940mmです。

取付説明書

Step 22: モールディングとトリム（必要に応じて）

クローゼットプラスにモールディングやトリムを取り付ける場合、施工する前に設置する環境下で少なくとも48時間置いて、モールディングやトリムを環境に慣れさせてください。

モールディングやトリムは木製材料の為、湿気を吸収して伸縮します。

施工前に環境に馴染ませておくことで、施工後の割れや変形を極力少なくすることができます。

Step 23: デコレイティブハードウェア（必要に応じて）

引き出しやドアを取り付けた場合、デコレイティブハードウェアが必要です。

ドリル、巻き尺、鉛筆とドライバーで取り付けます。

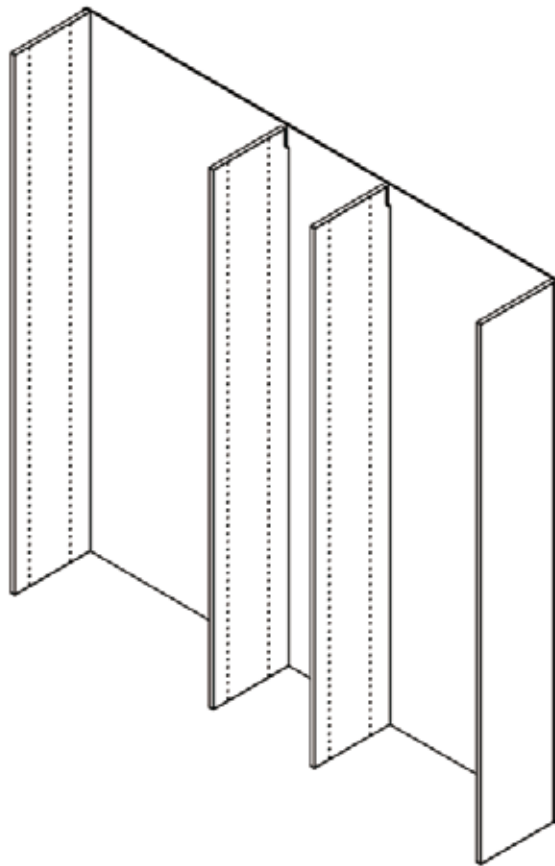
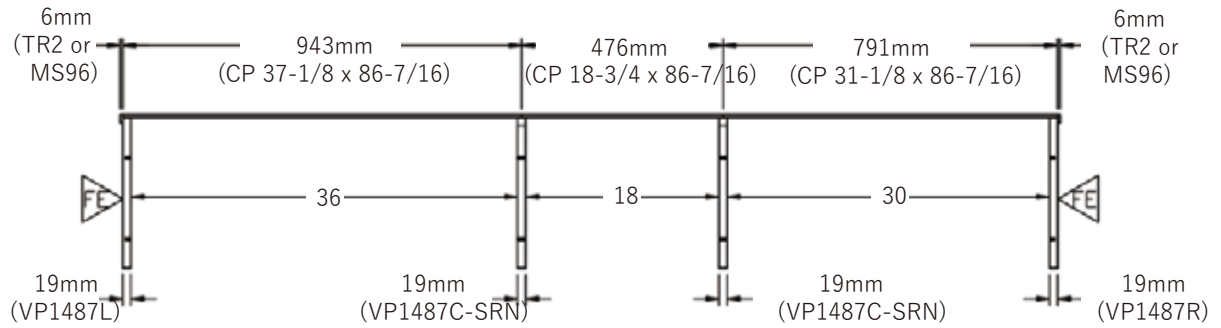


すべてのドアや引き出しの同じ位置にハードウェア取り付けるため、図のような木のテンプレートを用意すると便利です。

ハードウェアの配置は、23ページの引き出し取っ手のレイアウトを参照してください。

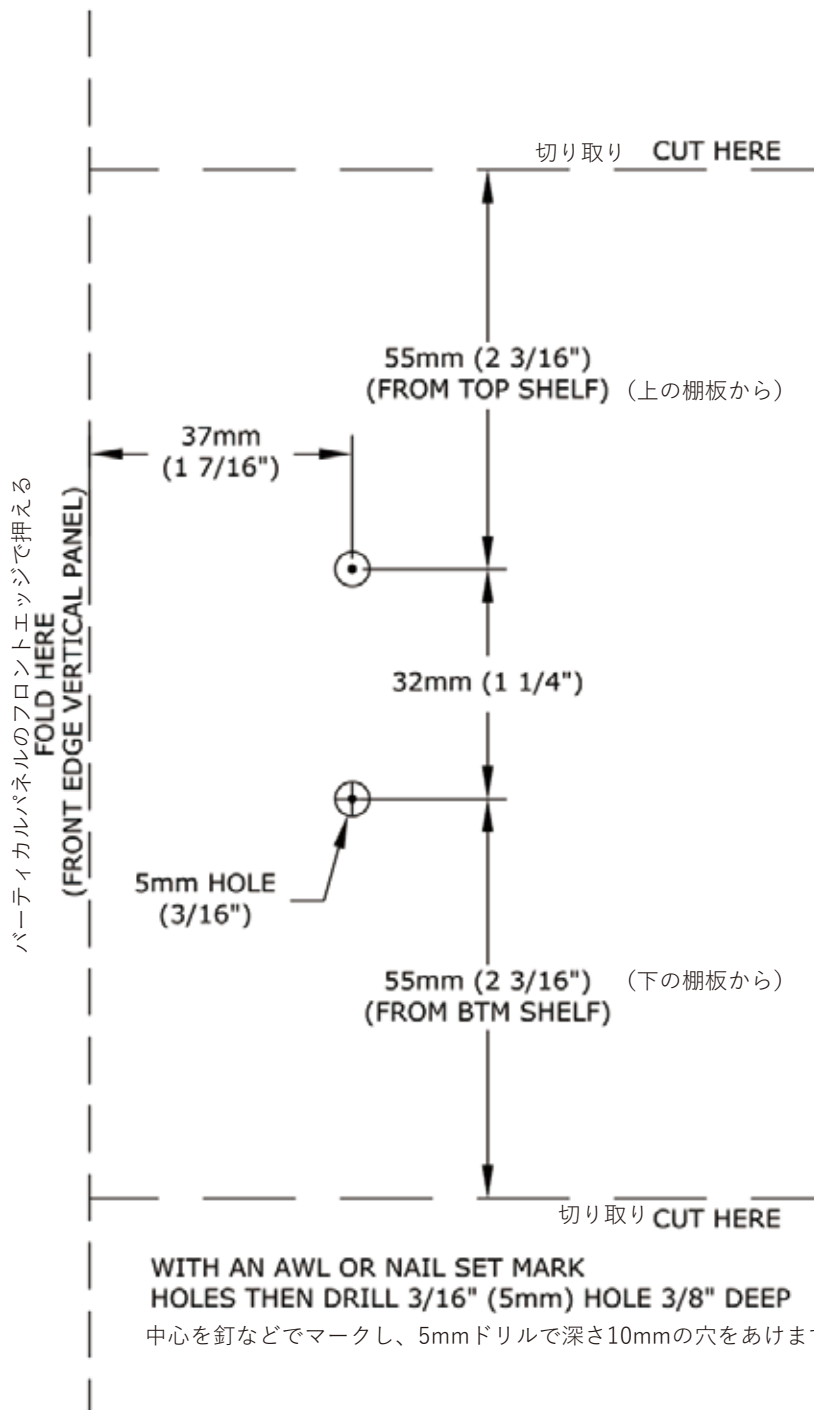
取付説明書

エッジ仕上げなしの背板(6mm)の取り付け



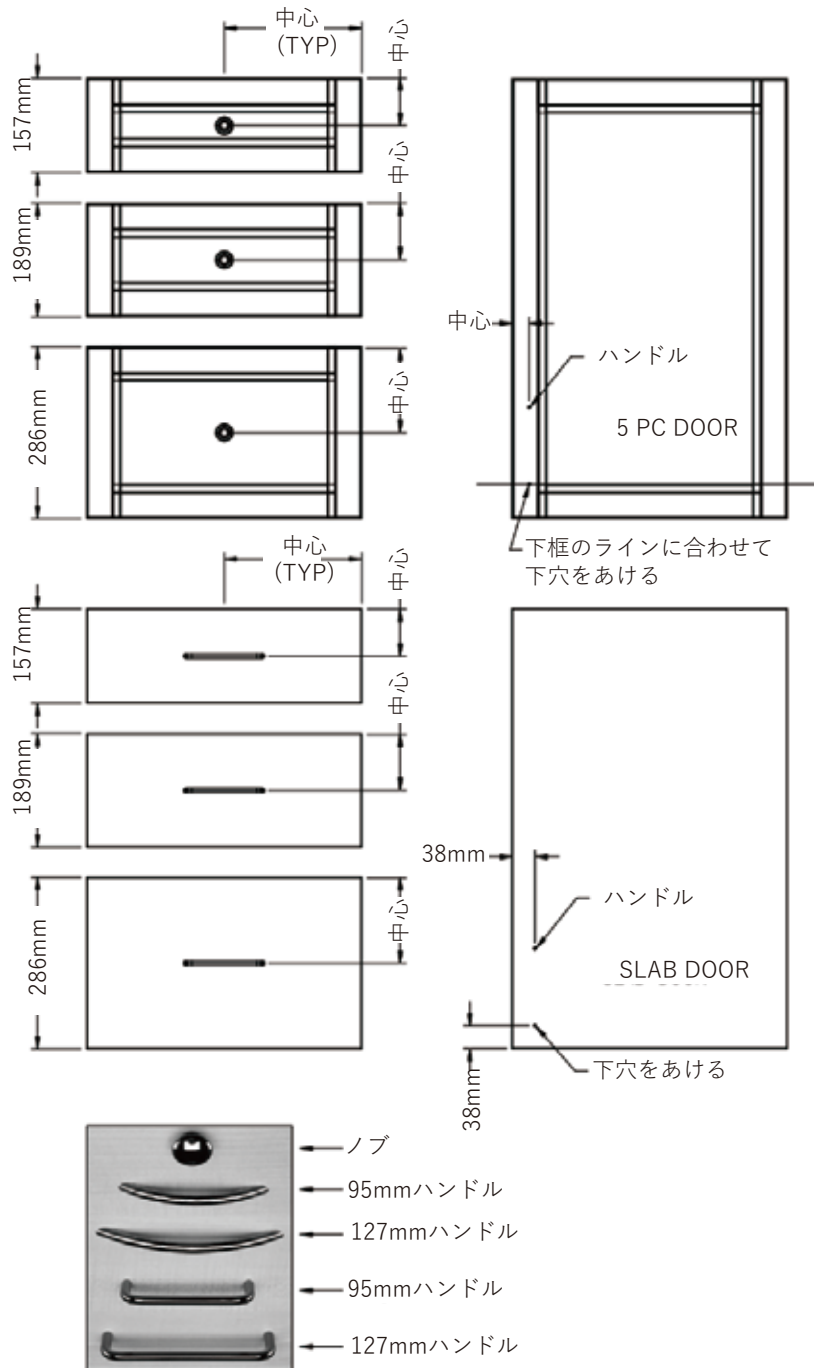
取付説明書

バーティカルパネルへのドア取付用穴あけテンプレート：実寸法



取付説明書

ハードウェアレイアウト



注意と施工の準備

キャニオンクリークキャビネットカンパニーの新しいクローゼットシステムを施工後にすぐに使えるように、十分に計画を立てて施工の日の準備をしてください。

施工日前に準備しなければならないこと

1. デザイン提案書と見積明細書をよく確認してください。施工担当者はデザイン提案書通りに設置します。もし、変更が必要なら、すぐに営業担当者に連絡してください。
2. 施工担当者が材料のカットや保管、組立準備ができるように、ガレージなどの作業スペースを確保してください。
3. 必要でしたら、施工担当者が使用できるエレベーターを確保してください。
4. すぐに設置できるように、設置場所必要のない材料はすべて取り除きます。(家具、柱、棚板、衣類など) 設置場所の形状とパーティカルパネルが干渉しないかどうか、よく確認してください。オプションのベースボードノッチ(中木用欠き込み)付ではない場合は、干渉する中木は取り除いてください。
5. 壁紙の張り替えや、壁塗装をする場合は、あらかじめ完了しておいてください。施工後の補修タッチアップ用塗料を取っておいてください。
6. 施工期間中は、振動する場合がありますので壁掛けの絵や時計なども外しておいてください。

施工期間中にしなければならないこと

1. 施工時に発生する確認事項について質問できるように、決定できる現場担当者と連絡がとれるようにしてください。
2. 施工時間は、現場状況や材料の状況やその他、様々な要因で延長する可能性があります。
3. 施工担当者は、作業スペースと設置場所で危険を伴う工具などを使用します。家族やペットなどが施工日にワークエリアに立ち入らないようにしてください。
4. 完成時には、現場担当と施工担当の両者による目視確認をしてください。使用方法の説明や細かな質問など、わからないことがあればその時に確認できます。
5. 完成後の質問や確認は、営業担当者にご連絡ください。

